

平成27年度「岐阜県ふるさと教育表彰」実践報告書

市町村名	恵那市	学校名	恵那市立明智中学校			
校長名	伊藤 勝彦	対象学年	第2学年	人数	38人	
活動名	志教育「大正村かえでまつり」	時間数	15時間	継続年数	1年	
題材	1 自然環境（山野・河川・動物・植物・その他） 2 歴史（出来事・史跡・先人・その他） 3 文化（芸能・芸術・民話・風習・その他） 4 地場産業（農業・水産業・伝統工芸・その他） ⑤ 絆を深め、よりよりふるさとをつくる活動 6 その他（ ）			[] [] [] [] [大正村かえでまつり] []		
複数年継続するための工夫改善	・「志学習」の一環として、2年生の総合的な学習の時間の年間計画に位置付けて取り組んでいく。 ・明智振興事務所と連携し、「大正村かえでまつり」の一区画を明智中学校第2学年が企画から運営までを担うスタイルを恒例として続けていく。					
<p>1 ねらい</p> <p>(1) 地域の活動に積極的に参画することで、自己有用感を感じることができる。</p> <p>(2) 地域の人と触れ合うことで、ふるさとを知り、ふるさとを愛する気持ちを育てる。</p> <p>(3) 地域社会人の一員としての自覚をもち、主体的に行動のできる実践力を育てる。</p> <p>2 活動の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明智振興事務所所長の講話を聴き、明智町の現状を知り、中学生の自分たちにもできることはないかを考えた。 ・明智町のためにできることの一つとして、「大正村かえでまつり」への参加を決め、以下の手順で明智振興事務所と連携しながら、自分たちの一区画を企画から運営まで担う活動をした。 ○企画書作成「こどもひろば」 8月 <ul style="list-style-type: none"> ・宝探しコーナー ・プラバン・スライム作りコーナー ○予算化（明智振興事務所からの資金援助） 9月 ○ハロウィーン飾り付けの発案 10月 ○ポスター及び当日の道具などの作成 ○当日のまつりの司会進行やブースの運営 11月1日 <p>3 地域住民との関わり、地域社会への貢献の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大正村かえでまつりの司会進行や「こどもひろば」のブース運営を明智中学校第2学年が行った。「こどもひろば」には幼児や小学生が詰めかけ、大盛況だった。 ・同日、第3学年もボランティアとして風船コーナー、ゆるキャラコーナー、ハロウィーンメイクコーナーなどを手伝い、こちらも大盛況だった。 ・中学生と明智振興事務所が共に地域の活性化について考え、地域に出て活動し、地域のためになることを実践していくことができた。明智振興事務所からは、後日所長と事務局の方が来校してくださり、第2学年の働きに感謝のお言葉を頂くことができた。 ・過疎化と高齢化の進む町で、中学生が町のためにできることを考え、できる範囲で実践していきうとしたことが地域の人たちの共感を得て、元気のある明智町の一つの姿をつくり出すことができた。 <p>4 活動による児童生徒の変容（伸長・成長等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の一員として、地域のために活動し貢献しているという実感が生徒の喜びにつながり、元気のある明智町の一つの姿をつくり出したことは、生徒の大きな自信と誇りとなった。 						